



参加者を前に自らの政策経験談を語る嘉田氏 二大垣市情報工房（同市小野地先）

## 『流域治水対策で、災いをいなくす！』

### 環境市民フェスティバル、嘉田氏が基調講演

- 環境について楽しく学び、実践に繋げることを目的とした「第15回環境市民フェスティバル」（主催・大垣市環境市民会議）が3月8日（日）、同市情報工房で開かれ、市内外から1部約200人、2部約300人で合計約500人が参加した。

第1部では「つながる命を学ぼう」をテーマに、児童らが小動物とふれ合ったり、クイズを通じて生き物の命の大切さについて学んだ。第2部では「水と生きる」をテーマに、環境学習に取り組む各種団体による活動成果が発表され、その他、環境保全活動に功績のあった企業や団体などを称える表彰式が行われた。

冒頭、小川敏・大垣市長は「地球温暖化が益々進んでおり、広島県や長野県南木曾町の土砂災害、福知山のゲリラ豪雨などによる被害がその1つの現れでもある。我々はこういった自然災害に対応していくためにも、CO<sub>2</sub>排出を食い止めなければならない。皆さんも今回の受賞を契機に、今後も環境学習や環境保全活動を積み重ね、環境に優しいまちづくりを進めてほしい」と挨拶した。

その後、びわこ成蹊スポーツ大学学長の嘉田由紀子さん（前滋賀県知事）が「水の恵みを活かし、災いをいなく暮らしを！」と題して講演。自らが県知事時代に取り組んだ、減災型治水としての「流域治水条例の制定」や全国初となる「水害リスクマップの作成・公表」を紹介した上で、「水は恵みだけでなく、災いも考えなければならない。地球温暖化で何が起こるか分からない時代だからこそ、完全に災害を防ぐことは出来ないし、防災・水循環のいずれも流域全体のことを多面的に考える視点が重要。災いを巧みにかわし（いなし）、命に関わる重要な情報はきちんと公開しなければならない」と訴えた。



動物クイズに参加し、元気よく回答する子供たち

■小動物とのふれあい体験やクイズを通じて、繋がる『命』の大切さ学ぶ！

・ セミナー室では、アフリカ大陸最大の陸ガメ「ケズメリクガメ」や「イモリ」などと触れ合えるコーナーがあり、子供たちは、普段、目にする事のない小動物たちに興味を示していた。

また、(公財)日本モンキーセンターは、類人猿が直面する危機や各地で行われている保全活動を紹介したパネルを展示。会場に集結した子供たちは、同センター・赤見理恵主任学芸員によるお話やクイズを通じて、生き物の命の大切さや、人間と動物との持続的な共存を考えた。



ケズメリクガメ

イモリ

## ■環境学習・活動 成果報告

・ 岐阜県大垣市上石津町<sup>かみいしづ</sup>で下水汚泥のリサイクル事業などを展開する(株)りゅういきの上石津工場・高木さんは、アサガオとゴーヤの2種類のつる性植物を用いたグリーンカーテンによる節電実験を報告し、「暑さを和らげ、体感温度を下げる効果があった。特にエアコンの使用頻度が高まる8月の電力量は半減した」と、省エネに一定の効果があることを強調した。



グリーンカーテンによる室内温度抑制実験の様子 (株)りゅういき

また、総合的な学習で絶滅危惧種や電力エネルギー、ゴミ問題の3テーマに取り組んだ大垣市立江並中学校<sup>えなみ</sup>の生徒は、校舎屋上に設置した太陽光パネルの発電状況などを取り纏め、「以前よりも、皆が環境問題に関心を持つようになった」と成果を振り返った。



来場者に活動報告を説明する水門川いきいきプロジェクトの伊藤允人代表

大垣市中心部を流れる水門川で、サイクリングやカワゲラウォッチングなど、小学校の出前講座に精力的に取り組んでいる「水門川いきいきプロジェクト」の伊藤允人<sup>いとう みつひと</sup>さんは、「最近では湧水の利き水も体験プログラムに取り入れている。水都“大垣”の水がいかにか安心して美味しいか、実際に飲み比べ、子供たちに理解してもらっている」と報告した。

## ■市民環境賞・小中学生作品表彰

・ 環境をテーマにポスター・作文を書いた小中学校の優秀作品に大垣市環境市民会議の成田顧問より、一人一人の子供に表彰状が手渡された。作文の部で優秀賞を受賞した、上石津中3年の萩永啓之進君が「未来に自然を残すために」と題して作文を朗読。脛永くんは、近所の川に生息するホタルが少なくなっている現状を説明し、「自然の事を考え、生物と共存していくためには、僕たち人間も普段の生活の中で少し我慢することも重要。出来ることから少しずつ取り組めば、素晴らしい自然を未来に残せるはず」と希望を膨らませた。

・ 平成12年より千人単位の河川清掃、西濃地域河川クリーン大作戦を主催し、自然環境の保全とボランティア意識の向上に貢献した岐阜県西濃建設業協会ら他4件が大垣市市民環境賞を受賞し、小川市長より表彰状が手渡された。



会場ロビーに貼り出された優秀作品



作文を朗読する上石津中・萩永君



表彰状を受け取る岐阜県西濃建設業協会